

館報
いりやま

令和3年11月1日現在

世帯数	855戸
男	922人
女	966人
総人口	1,888人

入山辺に工房を。 漆工芸に魅せられて

今回入山辺に転入された宮下さんご一家にインタビューしました。はじめに、ご主人についてご紹介します。東京芸大を卒業し、東京から入山辺へ転入し漆工房を構えた宮下智吉さん。

主に食卓で使用する器を制作しており、「漆器に温度を加えられるように。」そんな願いを込めています。

また、12月には東京、福島で個展を開くこととなっています。

漆器への思い

元々は器を作りたいという思いがあったご主人。その中で漆器に出会い、漆に魅了されたことがきっかけで現在の道へ。漆器を制作する上でこだわりの、木地から、上塗り、仕上げまでを1人で行っていること。一般的に、それぞれの作業を別々の職人さん

が行いますが、素地から仕上げまで一貫して制作をします。また、確かなものを使用したいという思いから、岩手、茨城の顔の見える職人さんの国産漆を使用。さらに、その国産漆を、下地から仕上げまでのすべてに使用し、制作しています。



温かさの伝わる漆の器

こうした一つ一つのこだわりが、力強く、また、艶っぽく品のある作品へと仕上がります。



丁寧に木地作りをするご主人

『入山辺に住んでみて』 インタビュー実施!!

自宅から望める季節により移ろいゆく自然、通勤途中で日々表情を変えるアルプスの峰々、入山辺の人のやさしさが素敵。」そう語るのは、2020年6月、入山辺の地に生活を移した宮下さん。

漆工芸作家として活躍するご主人と2人のお子さん（現在小学校2年生と幼稚園年中さん）と共に、住み慣れた東京を離れ入山辺に移住した。そんな宮下さんへ、インタビューを行いました。

Q1 入山辺へ住むことになったきっかけを教えてください。

漆工房と住居を一緒にできるところを長年探していたところ、知り合いの方から現在の場所を紹介されました。



絶景スポット「パノラマラインから見た春の入山辺」

Q2 入山辺に住んでみて良かったことは？

町会の人たちが、優しく迎え入れてくれました。バス停から帰る途中に持ちきれない

思ったよりも市街地に近いです。

理由は、入山辺の景色の美しさ、築60年になる木造建築の家の雰囲気がよくあったこと。

コロナウイルス感染症拡大の影響もありましたが、見学に来たら「一目惚れ」と言ってもいいくらい気に入ってしまい、即移住を決めました。



とびっきりの笑顔に全カピース

Q3 住んでみて困ったことは？

とにかく冬が寒いことです。寒い場所とは分かっていましたが、想像のさらに上を行く寒さにとっても驚いています。

子どもたちへの質問!!

入山辺に住んでみてどう？

とても楽しい！近くに住んでいる友達と遊ぶのが楽しい！仲良くしてくれてうれしい！

今回インタビューにご協力いただいた宮下さんとお子さん2人に感謝しております。

ご主人にお会いできなかったのが改めて、直接お話しをお聞きする機会を作りたいと思います。

被害多発!!入山辺の ブドウを守れ!!

近年、長野県内では、果樹の盗難が多発している。特に、高級品種ブドウである「シャインマスカット」が狙われている。入山辺地区内でも被害が多発しており、行政や警察と連携した地域ぐるみでの防止対策が進められている。

今年から地区の農業再生協議会などを中心に、盗難を防ぐため、長野県の「地域発元気づくり支援金」の事業を活用した防犯対策に取り組んでいる。また、「安心な山辺づくり事業」を展開。地域ぐるみで防犯への意識を高め、対策している。

松本警察署と連携し、パトロール活動も強化する。JAや生産者だけでなく、行政、地域住民、警察と地域ぐるみで盗難防止対策を強化する考えである。

JA松本ハイランド山辺営業農生活課 中澤雄一課長は、「被害を減らすには、ブドウ農家さんの自己防犯の意識と地域住民一人一人の防犯への意識を高めることが重要である。」と話した。

JA入山辺支所前にある警備看板

① JA青年部と地域住民が連携したパトロール ② 防犯への意識作りへ地域住民に啓発ちらしを配布 ③ 防犯カメラや警告の立て看板の設置を実施した。



野菜を堪能!入山辺の農村女性視察研修!

10月11日、秋晴れのもと入山辺農村女性委員会では、コロナの感染対策を講じながら、視察研修を実施しました。

最初の視察地、諏訪大社上社では、普段は目にしない相撲の土俵や千代の富士、貴乃花の優勝額が収められている社務所を案内していただきました。

今回の目的地、野菜のテーマパークである「カゴメ野菜生活ファーム富士見」は八ヶ岳を望む雄大な自然の中にありました。残念ながら、感染防止のため、実際の工場見学はできず、タブレットでの説明となりました。



笑顔あふれる入山辺農村女性の皆さんから、新鮮な野菜をふんだんに使ったイタリアン料理に舌鼓を打ちました。身近な野菜が、目でも舌でも楽しめる料理として工夫され、野菜を採ることの大切さを学びました。

農村女性として幅広く見聞を深めた一日となりました。(武井一恵さん)

~図書入替のお知らせ~

図書コーナーにある約550冊の本を入れ替えました。皆さまのご利用お待ちしております。

~次回館報予告~

入山辺では、毎年シカやイノシシ等による農作物の被害が多発しております。それらを食い止めるべく活躍している、入山辺猟友会の方々を特集します!お楽しみに!!



この旅行で友達といい思い出ができました。残り少ない小学校生活を大切にしていきたいです。



最高の思い出 修学旅行



山辺小学校 6年生 山田 眺士君

10月12、13日に待ちに待った修学旅行に行きました。

1日目の朝、大勢の先生たちに見送ってもらって出発しました。最初の見学は阿智村の満蒙開拓平和記念館でした。戦争当時のことが展示されていたり、全国から多くの人が満州に行き犠牲になったことも聞いて戦争の怖さを学びました。

次に農園に行きました。りんご狩り、バームクーヘン作りをして楽しかったです。宿舎ではおみやげを買いました。2日目は雨が降っていたけど牧場に着いたら止んでいました。乳搾りは簡単ですけど、牛が少し怖かったです。バター作りがすごく大変でした。最後に池の平ファミリールンドに行きました。友達といろいろな乗り物に乗って楽しかったです。